

平成 22 年第 10 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 22 年 10 月 19 日 (火) 10 時 00 分
2. 閉会日時 同 日 12 時 00 分
3. 開催場所 加西市庁舎 1 階 多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 竹 本 武 志
委 員 高 見 昭 弘
教 育 長 吉 田 廣

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	深 田 英 世
事務局参事	塩 見 善 則
学校教育課長	後 藤 倫 明
こども未来課長	前 田 晃
こども未来課主幹	後 藤 則 子
自己実現サポート課長	立 花 聡
青少年センター所長	柿 本 博 司
教育総務課長	深 田 秀 一
教育総務課主幹	中 倉 建 男
教育総務課課長補佐	千 石 剛

6. 報告事項

(1) 教育長の報告

教育長より、広報やホームページに掲載している「教育都市加西を目指して」を方針として、加西市教育改革を進めていきたい。加西市の特色を生かし、市民一人一人がまちづくりの主役となり、知恵と汗を出し合って進めていきたい、などの決意を述べる。

また、説明責任の徹底として、学校再編、幼保の民営化に関する情報を市民と広く議論しながら進めること。保護者や地域住民の参画の拡大として、地域力の向上と社会全体で子供を育成することを基調にしたいこと。更に、市民と進める教育改革の推進、風通しのよい柔軟な行政、学校再編を含めて、国・県との連携流れのよい行政、行政の主体性と責任をきちっと持った運営形態などを踏まえた対応をしていきたい。などの見解を述べる。

また、教育委員会が行政委員会としての独立、役割を果たしていかなければならないため、教育委員の協力や支援が必要と協力依頼する。

(2) 教育次長の報告

教育次長より、学校のあり方委員会に関して、10月5日の第2回委員会における議事として、小中学校の適正規模、適正配置、遠距離通学、区域外地域、地域核という4つの議題を検討したことを報告する。小中学校の適性規模、適性配置については、国としては12から18学級というのを標準規模とするが、市町村による特性、地域の特色を考慮して判断をし、国はあくまで標準を示したものである。経営戦略室等から、素案として現在の中学校区を一つの枠として、小中一貫教育を導入する方向で小学校の再配置を議論し、提案している。教育委員会としては、再配置と小中一貫教育は分けて考え、小中一貫教育はあくまでも小中学校の連続性を高めるというものであり、再配置とともに考えるべきことだが必ずしも連動するものではないなどの議論。遠距離通学、区域外通学については、スクールバスに関する議論。地域核については、学校が果たしてきた役割や、時代によって変化していくものであり学校がなくなるイコール地域核がなくなるということではないなどの議論。また、今回の3回目には、財政論や、より特色のある学校づくりについて、11月19日に開かれる予定。

次に、加西市教育振興計画審議会に関して、10月7日の審議会における議事として、基本理念には加西をもっと印象づけられるような工夫がほしい、項目ごとに形式のばらつきがあるので統一性を持たせてほしい、より数値化、可視化が必要である、加西の特色や社会教育の分野について十分検討する、などの意見があり、事務局より、夢のある教育都市かさいを目指すということを冒頭にかかげて、この五年間で進める施策を具体的に記述することとして、次回を11月18日に開催することを報告する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務主管の主要な工事の進捗状況等と、情報公開請求に対して簡単な概要説明の後、それぞれの担当者から報告する。

教育総務課主幹から、北条中学校の地震改築工事について、杭工事が終わり、基礎の配筋工事を行っている。出来高率7%で予定通り。善防中学校については、東渡り廊下等の部分を除いてほぼ終わり98%の進捗で最終の仕上げ段階。賀茂小学校の体育館についてもブレース、天井の仕上げ関係も60%で順調に進んでいる。泉中学校の武道場についてもブレース8か所の取り付けが終わり順調に進んでいる。富合、泉、九会小学校の体育館、泉中の体育館の設計委託業務については現場の調査が終わり、設計の作図段階に入っている。

木造校舎耐震診断は、宇仁小、富田小、西在田小の現地調査が終わり、作図と診断の準備に入っている。加西中学校下水対応工事については入札が終わり、来年年明けの工期で先日、現場打ち合わせを行なったことを報告する。

(4) こども未来課長の報告

続いて、こども未来課長から、情報公開請求と公立幼稚園、保育所の説明会の内容についての報告を行う。

内容については、保育所の決済書では合計で歳入1億9千5百万、歳出4億7千8百万円で、その差額分は市の単独経費を充当して2億8千万となっている。

公立幼稚園の決算書について、歳入の合計が4,400万円、歳出額が1億8千7百万で、歳入歳出の差額は、1億4千2百万となり、普通交付税、市税等、市の歳入で充当した金額が1億4千2百万となっている。

続いて、九会地区で行われた公立幼稚園、保育所説明会の内容について、10月14日の夜、南部公民館の2Fの研修室で行った。地域からの参加者は24名。副市長以下、経営戦略室長、教育委員会から記載しているメンバーで開催した。主な内容については、九会地区でなぜ民営化を進めていくのか、田原保育所はなぜ廃止されるのか、誰も廃止には賛成していないという意見をはじめ、もし田原保育所がなくなれば交通弱者で祖父母が園児をどのように連れていくのかなど、具体的な質問を受けた。

財政論を中心に説明したが、幼児教育をどのように作っていくのかという教育のビジョンを示してほしいという意見が出され、今後、教育論を定義する必要があるのではないかという感想を持った。次は、11月5日(金)の夜に福祉会館で市民全体と北条東幼稚園、北条南保育所を利用されている方、所在地域の方を対象とした説明会を予定していると報告する。

(5) 学校教育課長の報告

平成23年度高校奨学金の支給制度、について説明。国の施策において、高校授業料の無償化、加西市の財政上の課題等から、平成22年度には高校奨学金は廃止と決定した。しかし、対象となっている生徒等については、もともと、授業料免除等を受けている生徒が多く、なおかつ経済的な理由で就学が困難であるという状況があり、保護者等からの申し入れもあった。近隣の市町でも、平成22年度において、ほとんどの市が継続をしており、多可町では、一旦、廃止となりましたが、補正予算で復活したとのこと。進学の意欲、能力を持ちながら、経済的な理由で就学が困難な者に対して、平成23年度は高校奨学金の復活を検討したいと考えている。また、予算の計上も考えていきたい。

続いて、イオン加西北条ショッピングセンターで、購入したレシート等を提出すると、その金額に応じて委員会を通して、小学校に図書券を送るというキャンペーンを企画している。イオンから申し入れがあり、図書券を各小学校に委員会を通して配布し、図書活動、読書活動に役立てていく計画をしており、校長会で審議をしてもらうことで了解をとっている、と報告する。

(6) 自己実現サポート課長の報告

善防公民会祭り、北部公民館文化祭について 12～15 ページまでです。それぞれ、講座生、活動グループが開催するので、時間が許す範囲で教育委員の出席をお願いします。

11月7日、アスティア加西において盆栽展並びに文芸展の合同表彰式があります。該当者は 16～18 ページに一覧を掲載しましたが、盆栽展表彰者は 11月4日に審査がありますので表彰者名簿は添付していません。

市民教養講座については、今回図書館祭りと合同で開催します。テーマは不思議な笛の世界で、ストロー笛コンサートです。場所はアスティア加西で、11月13日(土)に実施します。

成人式については、市主催の成人式の意味、方法、内容について、教育委員会が成人式を主催するのは適正であるか否かも含めて、内部で検討してきました。市民から問い合わせが多数あり、今年度は教育委員会が担当部局として実施します。1月8日(土)、午後1時に開催する予定です。1月8日に開催する理由として、地域の代表者に新成人を共に祝ってもらうということが1点目です。新成人の親御さん、兄弟に会場に入ってもらって共に祝う場になりたいことが2点目です。新成人が職場、学校にもどる時間を確保することが3点目です。会場整理等に市幹部職員を動員しなくてはならないということが4点目です。翌日の日は、日曜日で、各町の初参会が重なります。新成人を共に祝うということにするなら、8日か10日ということになりますが、初参会前日の8日が良いのではないかと総合的に決定しました。内容については、一般公募した新成人の実行委員8名及び市役所の若手職員5名から成るワーキンググループで検討しています。第1部、第2部に分け、第1部は式典を重視、第2部は、実行委員が主体となって思い出作りを兼ねて進行します、と報告する

(7) 青少年センター長の報告

青少年センターから3点報告があります。インターネット、携帯電話の普及に伴って、青少年のパソコンや携帯電話を利用した犯罪やトラブルが増えてきています。昨年度、警察の調べによると、児童が売春などの犯罪被害にあった出会い系サイト、上位10のうち7サイトが健全と認定されたサイトです。GREE、mixi、モバゲーなどいろいろありますが、健全と言われているサイトで被害に遭っているケースが増えています。昨年度は、全国で500人の児童が被害に遭っている状況です。これは、全体を占める割合が44%です。これまで、フィルタリングをかけていれば、比較的安心であるという認識が強かったが、インターネット、携帯電話の利便性とともに危険性が非常に高いということを、子ども、市民にも啓発活動を行っていく必要があります。資料2にあるように、加西市青少年補導委員連絡協議会、加西市青少年健全育成連絡協議会、加西市連合PTA等の団体と連携をとりながら、加西市教育委員会の青少年センターに事務局を置いて、関係機関と連携をはかり、インターネット、携帯電話の危険性について啓発を行っていくとともに、監視活動についても考えていくということで、このような組織を立ち上げたいと考えています。3番目の構成員の役割ですが、それぞれが、役割を分担し、大きな負担をなくして、効率の良い展開ができればと考えています。

具体的には来年度から考えていますが、補導委員連絡協議会では、1日も早くそういった活動を取り入れてやっていきたいという方針です。のぼり等についても活動費の経費の中で、サイバーパトロール実施中という形のものを作ります。

2点目の報告ですが、23ページをご覧ください。青少年の非行防止、青少年が明るくいきいきと生活できることを目的に、小学校5年生～中学3年生を対象に、夏休みに標語、作文、ポスター等を募集しました。各学校で1次審査をして、146点がセンターに届いています。先日作品の審査会が行われ、そこに記載している形で、各部門で優勝者を決定しています。優秀作品については、市民にもご覧いただき、非行防止の意識の向上につなげていきたいと思っています。10月30日(土)から11月7日(日)まで、アステシア加西で展示会をします。その後は、各小中学校作品を持ち回り、約2週間ずつポスターの掲示をしたいと考えています。

3点目の報告ですが、24ページをご覧ください。青少年非行防止健全育成キャンペーンが、11月28日(日)午前10時から11時30分まで、イオン加西北条ショッピングセンター、アステシア加西、マックスバリュー古坂店、西村書店、この4か所において万引防止の啓発、非行防止の標語の優秀作品等記載した冊子を配布します。センターと警察、青少年補導連絡協議会、青少年健全育成連絡協議会、連合PTAの5者が合同で啓発活動、巡回補導活動を行いたいと考えています、と報告する。

12. 協議事項

(1) 報告事項の中から

○「教育都市かさい」をめざしてから

教育長が10月1日の就任にあたっての思いを「教育都市かさいを目指して」としてまとめ、この概要を説明する。これについて、竹本委員より、責任の所在を問われる現在、教育委員会が担うべき責任を明確に表していることへの賛同の意見。高見委員より、新たな教育長の考えであり、これを教育振興基本計画へ反映していくようにとの要望がある。

○公立幼稚園保育所再編について

公立幼稚園保育所の再編について、竹本委員よりカリキュラムのあり方について質問があり、後藤主幹より、民営化となっても教育、保育のレベルを確保し、第三者による評価機関を設けるなど、加西市全体として果たすべき機能を高めていきたい、教育長より民間の場合は特色性の強化など、入園者に魅力あるものを考えることとなる、前田課長より市内の民間による認定こども園の開設予定や、国の幼保関係施策の方針や、市立園の担うべき形態などについて説明する。

○高校奨学金支給制度について

学校教育課長より、高校の授業料無償化に伴い、一旦とりやめた奨学金制度について復活の方向で検討していますので、よろしくお願ひしますと報告する。

○成人式について

成人式は、毎年趣向が凝らされて行われているようです。今年は実行委員が8名いらっしゃるようですが、応募はどの程度あるのでしょうか、と質問され、自己実現サポート課長より、毎年公募を行っていますが、実は極めて厳しい状況です。今回は学校推薦の方も入ってもらっています。特に何名でなければいけないという規定はありません、と回答する。

続いて、荒木委員長より、毎年、趣向を凝らして一生懸命されているので、今年も期待したいと感想を述べられる。

○中学校の生徒指導について

竹本委員より、中学校の生徒指導体制に威圧的なところがあり、保護者の中に不満を持っている方がある。この機会に、生徒指導担当者会等で、どのような生徒指導体制がよいか自身のしっかりとした取組を要望したいとの意見があった。

また、その際、過去に荒れた中学校（市外の学校）で、なぜ、生徒が荒れるのか話し合い、勉強がわからないから教室にいられないのではという結論になり、生徒指導担当を中心に勉強会を行ったことがある。時として厳しい生徒指導も必要だが、生徒を理解し温かい生徒指導が大切と助言があった。

青少年センター所長より、10月4日には中学校の生徒指導担当者会で、竹本委員に指摘していただいたことを含めて、体育祭での保護者の意見を伝え、しっかりフォローをしていただきたいと話し合いを行った。中学校としては、そのあたりをかなり配慮しているつもりであるが、部分的に捉えると威圧しているかもしれない。ただし、継続的な指導の中で、強弱をつけ指導を行っているとのこと。先日のオープンスクールで、学校の様子をみさせてもらいましたが、現在は落ち着いている印象を受けたと報告する。

また、教育長も、竹本委員が言われるように、私自身の耳にも入ってくるのですが、中学校の立場や保護者の立場がある中、一步一步であります。具体的な対応策を考えたいと思っています。また原因を明確に把握し見極めていくことが大事で、そうでなければこれから大きな改革はできないと考えています。竹本委員のおっしゃることを肝に銘じて取り組んでいきたいと回答する。

○「加西市ネット見守り隊」の設置について

荒木委員長から、加西市ネット見守り隊のあり方について、啓発活動・研修や監視活動がありますが、細かいところまでは監視活動が行き届かないと思いますので、その中では啓発活動が大事だと思うと述べられる。

12. 教育委員の提案・報告

○予算要求について

高見委員から、教育委員会予算を市長部局へ提出する場合は、教育委員会の承認を済ましてから行なうべきであると考え、と提言され、教育長より、教育委員会として予算の内容・折衝内容についての共通理解が必要と考える。概略的な部分については、教育委員会の意見も反映した予算組みを行なってもらいたい。財政との協議により、最終に変わってもかまわない。また、教育次長から、以前より予算は報告事項ではないと指摘されていた。今後は、原案の時に、教育委員会の意見を頂いてから予算編成するように努めたい、と回答する。

○教育委員の学校訪問について

荒木委員長より、学校訪問等で、子どもたちの表情を見て先生方の雰囲気や教室の居心地などを感じ、思ったことを反映できれば良いと考える、と述べられる。

13. 今後の予定について

・播磨東教育長研修会	10月25日（月）14：00～	うるおい交流館エクラ
・第11回定例教育委員会	11月25日（木）10：00～	多目的ホール
・第12回定例教育委員会	12月20日（月）13：00～	5階（大）会議室

(3) その他

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 22 年 10 月 19 日

出席委員

(出席委員署名)